

編集後記

昨年11月より、新井博・紀要編集委員長から紀要担当を引継ぎました清水史郎です。これまで新井教授には、本学研究紀要の企画から投稿への呼びかけ、さらには編集においてリーダーシップを発揮していただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

今回の研究紀要第12号は、課題研究論文（2編）、自由研究論文（7編）、研究報告（2編）、アカデミックアワー研究報告（7編）で構成されています。

今回の第12号では、課題研究論文として「身体知」をテーマに、本学で運動学を専門とする柴田教授と仲宗根助教から論文を投稿いただきました。わが大学が目指す「スポーツ学」の確立のためにも、これまでに刊行された研究紀要第11号課題研究「スポーツ学のこれから」（新井博）、研究紀要第10号課題研究「スポーツ学の10年」（8編）とあわせてご覧いただき、ご意見をいただければ幸いです。

自由研究論文については紀要編集規程に基づく厳正な査読・審査の結果、各専門分野における7篇の研究論文が採択され掲載されています。特に、今回は若手研究者の投稿が多く、今後さらに若力で本学の研究活動が活発化することを期待します。

また、研究報告として2篇の論文を掲載しました。

さらに本学開催の「アカデミックアワー」において研究発表をいただいた概要を、それぞれ4ページに纏めていただき、アカデミックアワー研究報告として7編を掲載しました。

投稿原稿の査読については、お忙しい中を下記の査読者の方々にお願いました。この場を借りて厚くお礼を申し上げます。

図書・学術委員会としましては、これからもスポーツ学の確立を目指し、研究紀要においてもさらなる発展を図りたいと考えています。

査読者氏名：新井博，金森雅夫，北村哲，柴田俊和，渋谷俊浩，清水史郎，新宅幸憲，菅井京子，高柳真人，武井哲郎，谷川尚己，豊田則成，鳥羽賢二，中藪伸二，林綾子，吉田政幸

紀要編集専門委員会委員長 清水 史郎